

2016年6月29日

「タフマン」の新テレビCMがスタート！
伊東四朗さんが新キャラクター“タフマン侍”として登場
～東京ヤクルトスワローズの選手たちと共演～

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、喜劇役者の伊東四朗さんが出演する「タフマン」のテレビCM「タフマン侍 参上」篇（15秒、30秒）、「タフマン侍 ダッグアウト」篇（15秒、30秒）を7月1日から放送します。「タフマン侍 ダッグアウト」篇では伊東四朗さんと東京ヤクルトスワローズの監督、選手たちが共演します。

**【広告の目的】****タフマンブランドの認知向上とターゲット層の拡張**

「タフマン」の顔として高い評価を受けている伊東四朗さんのCM出演により、継続したブランドイメージの育成を図るとともに、飲用後の効果感を訴求します。伊東四朗さん扮する“タフマン侍”が東京ヤクルトスワローズの監督、選手たちと共演する、コント仕立てのCMによって、「タフマン」ブランドの認知・理解の促進を図ります。

【広告の特徴・ストーリー】**伊東四朗さんが「タフマン侍」に！ タフマンが必要な人々を元気づけるため参上します。****「タフマン侍 参上」篇**

伊東四朗さん扮する“タフマン侍”が日本中の人々を元気づけるため、自ら「タフマン」を飲み、タフマンパワーをみなぎらせます。

「タフマン侍 ダッグアウト」篇

神宮球場に参上した“タフマン侍”が東京ヤクルトスワローズの選手たちをタフマンパワーで送り出します。

■訴求テーマ

【タフマン侍 参上】【タフマン侍 ダッグアウト】：高麗人参のパワーを手軽に摂れる栄養ドリンク「タフマン」の飲用後の効果感を表現しています。

■出演者プロフィール

伊東四朗(いとう しろ)さん



1937年東京都生まれ。79歳。58年に軽演劇の石井均率いる劇団「笑う仲間」に参加し浅草松竹演芸場でデビュー。61年に三波伸介、戸塚睦夫と「ぐうたらトリオ」を結成。62年には「てんぶくトリオ」と改名。65年の日本テレビ『丸ちゃん!』でレギュラーに抜擢される。75年のTBS『笑って!笑って!60分』では小松政夫演じる「小松の親分さん」との絶妙な掛け合いを見せる。76年のテレビ朝日『みごろ!たべごろ!笑いごろ!!』では、「ベンジャミン伊東」の名で唄い踊ったバカバカしい「電線音頭」で世間を騒がす。83年にはNHK連続テレビ小説『おしん』のシリアスな父親役を演じる。以後も多数のテレビドラマ・映画・クイズ番組や歌番組の司会、そして、ラジオのパーソナリティとしても多彩ぶりを発揮している。八面六臂の活躍の一方で、「笑い」にこだわった舞台を創りだしている。97年三宅裕司とコントライブ『いい加減にしてみました』(2002、2010にも上演)。04年には「伊東四朗一座旗揚げ解散公演」を上演。好評を博す。現在不定期ではあるが、年一回は舞台に出演。“喜劇役者としてのこだわり”を持ち続けている。

東京ヤクルトスワローズの監督&選手

真中満監督、山田哲人内野手、川端慎吾内野手、畠山和洋内野手、小川泰弘投手